

# コロンビア

# Republic of Colombia

	2014年	2015年	2016年
①人口:4,874万人(2016年)			
②面積:114万1,748km <sup>2</sup>			
③1人当たりGDP:5,792米ドル (2016年)			
④実質GDP成長率(%)	4.4	3.1	2.0
⑤消費者物価上昇率(%)	3.66	6.77	5.75
⑥失業率(%)	9.1	8.9	9.2
⑦貿易収支(100万米ドル)	△6,231	△15,617	△11,455
⑧経常収支(100万米ドル)	△19,611	△18,642	△12,236
⑨外貨準備高(グロス) (100万米ドル)	46,408	46,104	45,962
⑩対外債務残高(グロス) (100万米ドル)	101,404	110,502	120,191
⑪為替レート(1米ドルにつき、 コロンビア・ペソ、期中平均)	2,001.78	2,741.88	3,054.12

〔注〕 ①③、④の2015年、⑩の2014、15年は暫定値。④の2016年、⑧の2015、16年、⑩の2016年は推計値。⑦国際収支ベース(財のみ)

〔出所〕 ①④～⑦:国家統計庁(DANE)、②:アグスティ・コダシ国土地理院(IGAC)、③⑨⑩IMF、⑧⑩コロンビア中央銀行

2016年のコロンビアの経済成長率は2.0%となり、2010年以降で最低だった。2016年は原油価格の低迷による輸出減少に加え、通貨安や高金利などが影響して国内消費も減速した。貿易は油価の低迷と内需縮小により輸出と輸入の双方が減少した。対内直接投資は電力会社の民営化案件などもあり、堅調に推移している。足元では2016年末に施行された税制改正による増税で消費者の購買力が低下し、国内需要が低迷しているが、今後の展望としては、原油価格の回復による貿易収支の改善、政府と左翼ゲリラのコロンビア革命軍(FARC)が和平合意を締結したことによる外国直接投資の増加、内戦終結による農村地区の開発などが見込まれ、経済は緩やかに回復するとみられている。

## ■ 2016年は過去7年で最も低い経済成長率

2016年の実質GDP成長率は2.0%と低迷、2010年以降で最も低い成長率となった。総需要の65%を占める民間最終消費支出は前年比2.1%増とコロンビア経済を下支えした。ただし、前年ほどの伸びは見られない。財別にみるとサービスが2.7%増、非耐久消費財が2.1%増、半耐久消費財は0.03%の微増となっているが、耐久消費財の需要は前年の5.1%増からマイナス0.8%へと減少した。国内新車販売(登録)台数は、前年比10.5%減の25万3,395台で、2年連続の2桁減となった。ペソ安傾向が続く中、輸入車の販売が6割弱を占める自動車などを中心に耐久消費財の消費は低迷した。

2016年の失業率は、前年の8.9%から9.2%へと悪化した。2009年(12%)以降は順調に低下してきたが、7年ぶりに上昇した。失業率は都市部でより深刻になっており、2016年第4四半期の農村部の失業率4.4%に対し都市

表1 コロンビアの需要項目別実質GDP成長率

	2015年	2016年				2017年 Q1	
		Q1	Q2	Q3	Q4		
実質GDP成長率	3.1	2.0	2.7	2.5	1.1	1.6	1.1
民間最終消費支出	3.2	2.1	2.8	2.1	1.1	2.3	1.1
政府最終消費支出	5.0	1.8	3.9	3.1	0.2	0.2	2.1
国内総固定資本形成	1.8	△3.6	△4.0	△4.0	△3.6	△2.9	△0.7
財貨・サービスの輸出	1.2	△0.9	0.7	2.1	△3.0	△3.3	△3.6
財貨・サービスの輸入	1.4	△6.2	△5.8	△3.5	△10.9	△4.3	△0.4

〔注〕 2015年は暫定値。2016年、2017年は推計値。四半期の伸び率は前年同期比。季節調整値。

〔出所〕 国家統計庁(DANE)

部では9.2%と、その差は4.8ポイントにも及ぶ。

産業別にGDP成長率をみると、9分野のうち7分野がプラス成長となり、金融・保険・不動産(5.0%)や建設業(4.1%)、製造業(3.0%)が堅調な伸びをみせた。製造業では、特に原油・同派生品精製(23.2%)が際立った伸びを示したが、これは国営石油会社エコペトロールのカルタヘナ製油所の改修工事が2015年10月末に終了し、石油精製能力が大幅に上がった影響が大きい。このほか、飲料製造業や機械製造が好調だった。

一方で、経済成長の足かせになっているのが鉱業(マイナス6.5%)だ。最も不振だったのは原油・天然ガス・ウラン・トリウム部門(マイナス11.1%)で、1年を通してマイナス成長となった。また、商業・ホテル・外食と運輸・通信も前年から鈍化した。

2017年第1四半期の実質GDP成長率は1.1%で、前年同期の2.7%から大幅に減速した。農林水産業(7.7%)と金融・保険・不動産(4.4%)は好調だったが、2016年に引き続き鉱業(マイナス9.4%)の不振が全体の足かせとなった。需要項目別にみると、民間最終消費支出が2016年末の税制改正の影響により前年同期比1.1%増、季節調整済み前期比0.4%減と低迷している。予想を下回る内需の低迷を受け、中銀は2017年の実質GDP成長率の見通しを2.0%から1.8%に

下方修正した。なお、IMF は 2017 年の成長率を 2.3%と  
している。

中長期的にみれば、政府と左翼ゲリラのコロンビア革命  
軍(FARC)が和平合意を締結したことによる国内外からの  
投資の増加、内戦終結による農村地区の開発などが見  
込まれ、経済成長は今後加速するものとみられる。

## ■貿易赤字は縮小

貿易(通関ベース)は、輸出が 310 億 4,500 万ドルで前  
年比 13.0%減、輸入は 448 億 8,900 万ドルで同 17.0%減  
と、ともに減少した。貿易収支は 138 億 4,400 万ドルの赤  
字となったが、赤字幅は前年より 45 億 2,200 万ドル縮小し  
た。

輸出が減少した最大の原因は、品目別で最大シェア  
(26.0%)の原油が 80 億 6,000 万ドルと前年の 128 億  
3,400 万ドルから 37.2%減少したことだ。輸出量も前年比  
21.0%減となっているが、輸出価格も低下している。2016  
年のコロンビア産原油の平均輸出価格は 1 バレル当たり  
35.9ドルであり、前年の 44.4ドルから 19.1%下落した。輸  
出額 2 位の石炭は、前年比 1.7%増の 46 億 3,900 万ドル  
となった。

輸出を伸ばしたのは、金(15 億 3,300 万ドル、前年比  
40.5%増、構成比 4.9%)、豆類・果実(11 億 1,700 万ドル、  
16.3%増、3.6%)および自動車(5 億 5,100 万ドル、9.9%  
増、1.8%)などの品目だ。金は、輸出量が前年比 28.8%  
増となったことに加え、国際価格も上昇したことが寄与し  
た。豆類・果実は、2016 年春先まで続いたエルニーニョ  
現象の終息と、政府による農林水産物・食品・飲料分野  
での輸出多様化を目指す取り組みの成果が表れてきて

いるといえる。自動車は、輸出台数が 3 万 9,311 台で前年  
比 18.2%増となっており、国別シェア首位(64.3%)のメキ  
シコ向けが前年比 31.6%増の 2 万 5,282 台を記録したこ  
とが大きい。メキシコ向けにはルノーが輸出を行っている。

主要輸出相手国・地域別では、最大の仕向け先の米国  
は 98 億 7,000 万ドルで前年比 0.2%増、以下、パナマ(19  
億 1,200 万ドル、20.1%減)、オランダ(12 億 600 万ドル、  
19.0%減)、エクアドル(12 億ドル、16.3%減)、スペイン  
(11 億 5,900 万ドル、26.7%減)と続く。上位 5 カ国では米  
国が微増となった以外は減少したが、2015 年と比べると  
落ち込みの幅は緩和している。

政府は、原油をはじめとする国際価格に左右される鉱  
産資源輸出依存型の輸出構造からの脱却を図り、2018  
年までに非資源産品の輸出総額 300 億ドルを目指すとし  
ている。商工観光省は農林水産・食品・飲料分野の輸出  
有望産品 26 品目を掲げ、一次産品としての輸出のみなら  
ず生産性、イノベーション、高付加価値化の向上に取り組  
み、輸出拡大を図るとしている。26 品目には積極的に輸  
出をしているコーヒー(調整品含む)、バナナ、パーム油、  
カカオ(調整品含む)に加え、調理用バナナ、ティラピア、  
マス、アボカド、牛肉、パイナップルなどが含まれている。  
政府は、2018 年までに同分野の輸出額 100 億ドル超を目  
指している。

## ■内需低迷で輸入は 2 年連続の落ち込み

2016 年の輸入は前年比 17.0%減の 448 億 8,900 万  
ドルへと減少した。2015 年は 6 年ぶりの前年割れを記録し  
たが、2016 年も前年に引き続き減少となった。輸入額の

表 2 コロンビアの主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位:100 万ドル、%)

	輸出 (FOB)					輸入 (CIF)			
	2015 年		2016 年			2015 年		2016 年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
農林水産・食品・飲料	6,935	6,865	22.1	△1.0	農林水産物・食品・飲料	6,019	6,265	14.0	4.1
コーヒー	2,949	2,830	9.1	△4.0	穀物・同調整品	1,782	1,677	3.7	△5.9
肉類・野菜類の未加工品	1,350	1,376	4.4	1.9	飼料	748	746	1.7	△0.2
豆類・果実	960	1,117	3.6	16.3	鉱物性燃料・非鉄金属など	5,992	4,562	10.2	△23.9
鉱物性燃料・非鉄金属など	19,291	15,107	48.7	△21.7	石油・同派生品	5,126	3,759	8.4	△26.7
石油・同派生品	14,120	10,093	32.5	△28.5	工業品	41,934	33,922	75.6	△19.1
石炭・コークスなど	4,560	4,639	14.9	1.7	自動車	4,762	4,221	9.4	△11.4
工業品	8,361	7,526	24.2	△10.0	通信機器・映像再生機	3,416	2,778	6.2	△18.7
プラスチック原料	882	788	2.5	△10.7	医薬品	2,505	2,280	5.1	△9.0
化学製品	612	561	1.8	△8.3	一般産業機械・同部品	2,680	2,100	4.7	△21.6
自動車	501	551	1.8	9.9	有機化学品	2,010	1,848	4.1	△8.1
エッセンシャルオイル・芳香剤など	616	540	1.7	△12.4	電気機器・同部品	2,030	1,730	3.9	△14.8
電気機器・同部品	459	448	1.4	△2.4	鉄鋼製品	1,969	1,462	3.3	△25.7
医薬品	509	431	1.4	△15.4	織物及び繊維製品	1,407	1,315	2.9	△6.6
非金属鉱物製品	447	427	1.4	△4.4	事務機械・情報処理機械	1,619	1,297	2.9	△19.9
その他製品	1,104	1,548	5.0	40.2	プラスチック原料	1,458	1,295	2.9	△11.2
金(マネタリーゴールド除く)	1,091	1,533	4.9	40.5	その他の雑製品	1,473	1,264	2.8	△14.2
合計	35,691	31,045	100.0	△13.0	合計(その他含む)	54,058	44,889	100.0	△17.0

[注] 金額は暫定値。

[出所] 国家統計庁(DANE)

表3 コロンビアの主要国・地域別輸出入<通関ベース>

(単位:100万ドル、%)

	輸出 (FOB)					輸入 (CIF)			
	2015年		2016年			2015年		2016年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
北米 (NAFTA)	11,185	11,195	36.1	0.1	北米 (NAFTA)	20,242	16,056	35.8	△20.7
米国	9,853	9,870	31.8	0.2	米国	15,512	11,878	26.5	△23.4
メキシコ	914	937	3.0	2.5	メキシコ	3,853	3,411	7.6	△11.5
カナダ	417	388	1.2	△7.1	カナダ	877	767	1.7	△12.6
ALADI(メキシコを除く)	8,353	6,842	22.0	△18.1	ALADI(メキシコを除く)	6,015	5,727	12.8	△4.8
アンデス共同体	2,730	2,399	7.7	△12.1	アンデス共同体	2,153	2,021	4.5	△6.1
エクアドル	1,433	1,200	3.9	△16.3	エクアドル	783	805	1.8	2.8
ペルー	1,148	1,051	3.4	△8.5	ペルー	937	682	1.5	△27.2
ボリビア	149	149	0.5	△0.4	ボリビア	432	534	1.2	23.5
その他 ALADI(メキシコを除く)	5,623	4,443	14.3	△21.0	その他 ALADI(メキシコを除く)	3,862	3,706	8.3	△4.1
パナマ	2,394	1,912	6.2	△20.1	ブラジル	2,084	2,117	4.7	1.6
ブラジル	1,190	995	3.2	△16.4	チリ	781	721	1.6	△7.6
チリ	737	670	2.2	△9.1	アルゼンチン	501	511	1.1	1.9
ベネズエラ	1,060	614	2.0	△42.1	ベネズエラ	292	190	0.4	△35.0
アルゼンチン	151	176	0.6	17.0	ウルグアイ	74	104	0.2	41.1
キューバ	39	34	0.1	△13.6	パナマ	93	31	0.1	△66.3
ウルグアイ	23	22	0.1	△0.6	パラグアイ	34	27	0.1	△18.5
パラグアイ	30	19	0.1	△34.7	キューバ	3	4	0.0	14.4
EU	6,008	4,971	16.0	△17.3	EU	8,278	6,301	14.0	△23.9
オランダ	1,490	1,206	3.9	△19.0	ドイツ	2,267	1,708	3.8	△24.7
スペイン	1,581	1,159	3.7	△26.7	スペイン	915	918	2.0	0.4
英国	633	482	1.6	△23.9	フランス	1,914	827	1.8	△56.8
ドイツ	496	476	1.5	△4.0	イタリア	824	761	1.7	△7.6
ベルギー	481	451	1.5	△6.3	英国	536	416	0.9	△22.5
その他	1,327	1,197	3.9	△9.8	その他	1,822	1,671	3.7	△8.3
アジア	3,940	2,258	7.3	△42.7	アジア	14,138	12,015	26.8	△15.0
日本	520	428	1.4	△17.7	日本	1,227	1,116	2.5	△9.1
中国	2,264	1,127	3.6	△50.2	中国	10,032	8,631	19.2	△14.0
韓国	229	402	1.3	75.3	インド	1,199	946	2.1	△21.1
インド	550	226	0.7	△59.0	韓国	1,155	889	2.0	△23.1
合計(その他含む)	35,691	31,045	100.0	△13.0	合計(その他含む)	54,058	44,889	100.0	△17.0

[注] ①ラテンアメリカ統合連合(ALADI)は、アルゼンチン、ボリビア、ブラジル、チリ、コロンビア、キューバ、エクアドル、メキシコ、パナマ、パラグアイ、ペルー、ウルグアイ、ベネズエラからなる。アンデス共同体は、ボリビア、コロンビア、エクアドル、ペルーからなる。②金額は暫定値。

[出所] 国家統計庁 (DANE)

75.6%を占める工業品は 19.1%減、10.2%を占める鉱物性燃料・非鉄金属は 23.9%減となったなか、農林水産物・食品・飲料は 4.1%増加した。農水産・食料品を品目別で見ると、砂糖の輸入増加が顕著で、前年比約 2.3 倍となっている。これは、2015年11月の政府決定により、同年12月15日以降外国産砂糖に掛かる輸入関税が最大117%から70%に引き下げられたことによる。

個別品目別の首位は自動車であり、11.4%減の 42 億 2,100 万ドルだった。ブラジルからの輸入台数が前年比 2 倍強、スペインからの輸入台数が約 4.5 倍と増加した一方、米国やインドからの輸入は前年から 40%以上減少した。ブラジルとは、2015年10月9日に自動車の無関税輸入枠を相互に設ける協定を締結している。これにより、定められた域内付加価値比率を満たした完成車に対して最大で年間 5 万台までの輸入関税が撤廃されることになっており、輸出ではほとんど変化が見られなかったが、輸入は大幅に増加した。

### ■韓国、コスタリカとの FTA が発効

2016年の通商政策の動向としては、5月に太平洋同盟枠組み協定の追加議定書が発効した。また、7月に韓国、8月にコスタリカとの FTA が発効した。2017年6月現在、

14の協定に署名、うち12協定が発効している。

2016年の FTA 発効済み国との貿易は、輸出全体の 73.5%、輸入全体の 66.2%を占める。構成比順で見ると、往復で米国が首位の 28.6%、次いで EU(14.8%)、太平洋同盟(9.8%)、アンデス共同体(5.8%)と続く。

発効から 5 年が経過した米国との FTA については、2017年5月にサントス大統領が米国のトランプ大統領と首脳会談を行った際に、両国関係のさらなる発展を目指し、新たな投資協定や民間部門も加わるビジネス協議会の設立を発表した。2012~2016年の米国による対コロンビア直接投資額は 117 億 4,300 万ドルに達している。また観光では、2012年に 32 万 8,886 人だった米国からの観光客が 2016年には約 50 万人と 50%強増加した。非鉱業品の対米輸出額は、2012年の 34 億 1,500 万ドルから 2016年には 38 億 3,640 万ドルと 12.3%増加しており、一定の成果がみられる。しかし、非鉱業品の貿易収支をみると、2012年は 82 億 4,400 万ドルの黒字だったが、2013年は 27 億 8,000 万ドルの黒字に減少、その後は赤字に転じ、2014年 31 億 8,500 万ドル、2015年 48 億 100 万ドル、2016年 12 億 6,900 万ドルの赤字となっている。

先为首脳会談では、米国動植物検疫所によって数年にわたり調査が行われているコロンビア産アボカド(ハス種)

表4 コロンビアのFTA発効・署名・交渉状況

FTA	発効日	(単位:%)			
		コロンビアの貿易に占める構成比(2016年)			
		往復	輸出	輸入	
発効済み	カリブ共同体(CARICOM) (アンティグア・バーブーダ、バルバドス、ベリーズ、ドミニカ国、グレナダ、ガイアナ、ジャマイカ、セントクリストファー・ネイビス、セントルシア、セントビンセント及びグレナディーン諸島、トリニダード・トバゴ、英領モンセラット)	1995年1月1日	0.5	0.8	0.3
	メルコスール (アルゼンチン、ブラジル、パラグアイ、ウルグアイ、ベネズエラ)	2004年10月18日	6.3	5.9	6.6
	アンデス共同体(CAN) (エクアドル、ペルー、ボリビア)	2006年1月1日	5.8	7.7	4.5
	チリ	2009年5月8日	1.8	2.2	1.6
	中米3カ国 (エルサルバドル、ホンジュラス、グアテマラ)	2009年11月12日 グアテマラ 2010年2月1日 エルサルバドル 2010年3月27日 ホンジュラス	0.7	1.5	0.2
	メキシコ	2011年8月2日	5.7	3.0	7.6
	欧州自由貿易連合 (スイス、アイスランド、ノルウェー、リヒテンシュタイン)	2009年11月26日 リヒテンシュタイン 2011年10月29日 スイス 2014年9月1日 ノルウェー 2014年10月1日 アイスランド	1.1	1.4	0.9
	カナダ	2011年8月15日	1.5	1.2	1.7
	ベネズエラ	2012年4月15日	1.1	2.0	0.4
	米国	2012年5月15日	28.6	31.8	26.5
	欧州連合(EU)	2013年8月1日	14.8	16.0	14.0
	太平洋同盟 (メキシコ、ペルー、チリ)	2015年7月20日	9.8	8.6	10.7
	韓国	2016年7月15日	1.7	1.3	2.0
	コスタリカ	2016年8月1日	0.4	0.7	0.2
	合計	-	69.2	73.5	66.2
署名済み	イスラエル	-	0.6	0.9	0.3
	パナマ	-	2.6	6.2	0.1
交渉中	トルコ	-	1.3	2.5	0.5
	日本	-	2.0	1.4	2.5

[出所] 商工観光省、国家統計庁(DANE)

の米国の輸入に関し、輸入承認に向けた最終プロセスをスピードアップすることが確認された。アボカドは、商工観光省が輸出有望産品として掲げている26品目の1つで、2016年の輸出額は3,500万ドルと2015年の1,010万ドルから3.5倍に増加している。対米輸出が可能になれば、2016年のアボカド輸入額が約20億ドルに及ぶ米国市場への輸出拡大が期待される。

### ■非鉱業・エネルギー分野への投資が増加

対内直接投資額(国際収支ベース、ネット、フロー)は前年比15.9%増の135億9,300万ドルとなった。非鉱業分野への投資が32.7%増と好調、なかでも電力・ガス・水道は13倍超の36億3,000万ドルと大幅に増加した。これは、カナダのブルックフィールド社が、政府が保有するイサヘン電力の株式の57.6%を取得した案件によるところが大きい。運輸・倉庫・通信は36.8%増の10億9,600万ドル、金融は22.3%増の25億7,200万ドルと前年から大きく伸びた。一方、これまで最大の投資先であった石油部門は21億7,200万ドル(前年比13.5%減、構成比16.0%)となったほか、鉱業は前年の5億3,300万ドルから1億400

万ドルの引揚超過となり、2015年に引き続き資源価格下落の影響が影を落とした。

国別にみると、カナダが前年比7倍近い21億9,400万ドルで最大の投資国になった。以下、米国(21億4,000万ドル)、スペイン(15億2,700万ドル)、パナマ(13億8,700万ドル)と続く。

2016年11月に政府と左翼ゲリラコロンビア革命軍(FARC)が和平合意に署名し、52年間にわたって続いた内戦が終結した。これにより、2017年以降は特に農業・農村開発、観光、インフラ部門などへの外国直接投資の呼び込みが期待できる。

2016年における対内直接投資事例は全体で148件あった。国別では米国が首位の43件、以下、スペイン28件、フランス13件、メキシコおよびチリ9件と続く。主な事例をみると、チリの小売り・流通最大

手のセンコスッドが3億ドルを投じてメデジン市にショッピングモールを建設するほか、同じくチリ3位の商業施設デベロッパのパルケ・アラウコがボゴタ北部にショッピングモールを建設するなど、商業施設の好調が目立った。コンサルタント会社ラダール(Raddar)によると、2017年4月のショッピングモールの売上高は9兆ペソ(約30億ドル)で、前年同期の10兆2,000億ペソ(約34億ドル)から11.8%減少したものの、レストラン、映画館、子供向け遊具などは好調で、全体の売上低下を補っている。コロンビア国内では2017~2020年にかけて新たに62のショッピングモール建設が予定されているなど、中間層の台頭により今後も成長が期待される。

### ■対外直接投資では金融部門と製造業が拡大

2016年の対外直接投資額は45億1,700万ドルと前年比7.1%増だった。産業部門別では、金融が前年の約5.9倍の25億200万ドルで最大となったほか、製造業が5億8,100万ドルと前年比37.6%増だった。

主要地域別にみると、カリブ島しょ地域向け(17億1,600万ドル)が全体の38.0%を占め、以下、南米(12億300万

ドル、構成比 26.6%)、欧州地域(8 億 2,800 万ドル、18.3%)と続いた。なお、2015 年に 9 億 3,500 万ドルの引揚超過となった北米は、4 億 5,100 万ドルへと回復した。

主な案件をみると、製造業のセメント・アルゴスがハイデンベルグセメントの米国にあるセメント生産プラントとセメントターミナルを 6 億 6,000 万ドルで買収したほか、大手金融グループのグルーポ・スラが英国 RSA インシュアランス・アライアンスの中南米 6 カ国(アルゼンチン、ブラジル、チリ、コロンビア、メキシコ、ウルグアイ)の事業を 6 億 1,400 万ドルで買収するなど大型案件があった。その他、送電会社のイサによるブラジルのタエサの株式 41.6%取得(3 億 2,000 万ドル)、食品大手のコロンビーナによるグアテマラ・カプサ社の株式 50.0%取得(3,200 万ドル)などがある。

## ■対日輸出では石炭、フェロニッケルが好調

2016 年の対日輸出は前年比 17.8%減の 4 億 2,800 万ドル、対日輸入は 9.1%減の 11 億 1,600 万ドル、貿易収支は 6 億 8,800 万ドルの赤字となった。赤字幅は、前年比で約 1,950 万ドル縮小した。

主要品目別にみると、銅のくずなどの卑金属が前年比で約 3.9 倍の 340 万ドルと最も伸び率が大きかったほか、フェロニッケルは約 2.2 倍の 5,500 万ドル、石炭は 56.5%増の 2,600 万ドルと拡大した。構成比 56.8%と最大の輸出品目であるコーヒーは、11.2%減の 2 億 4,300 万ドルと伸び悩んだ。

他方、対日輸入をみると、日本は国別では 2015 年まで 3 年連続で 7 位の輸入相手国だったが、2016 年は対日輸入の落ち込みが全体の落ち込みよりは小さかったため、構成比が 2.5%へと上昇し、6 位となった。品目別にみると、

表 5 コロンビアの国・地域別対内・対外直接投資<国際収支ベース、ネット、フロー>

(単位: 100 万ドル、%)

	対内直接投資				対外直接投資			
	2015 年		2016 年		2015 年		2016 年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
北米(NAFTA)	2,230	4,954	36.4	122.1	△935	451	10.0	-
米国	2,031	2,140	15.7	5.4	95	2	0.0	△98.4
カナダ	322	2,194	16.1	580.5	△268	△39	-	-
メキシコ	△123	621	4.6	-	△762	488	10.8	-
欧州地域	4,678	4,687	34.5	0.2	1,844	828	18.3	△55.1
スペイン	1,332	1,527	11.2	14.7	2,228	457	10.1	△79.5
オランダ	945	1,028	7.6	8.8	△158	63	1.4	-
英国	693	855	6.3	23.5	△133	327	7.2	-
スイス	950	702	5.2	△26.1	△102	1	0.0	-
ドイツ	234	218	1.6	△6.7	△0	0	0.0	-
フランス	181	200	1.5	10.8	△7	△9	-	-
カリブ島しょ地域	1,861	2,022	14.9	8.7	1,216	1,716	38.0	41.2
バミューダ	1,292	1,520	11.2	17.7	1,056	628	13.9	△40.5
ケイマン諸島	229	292	2.1	27.5	46	82	1.8	77.5
バルバドス	237	233	1.7	△1.8	41	△6	-	-
中米	1,698	1,478	10.9	△12.9	848	322	7.1	△62.0
パナマ	1,660	1,387	10.2	△16.4	748	196	4.3	△73.8
南米	1,068	300	2.2	△71.9	1,233	1,203	26.6	△2.4
チリ	71	86	0.6	22.2	608	630	14.0	3.5
エクアドル	44	60	0.4	34.7	37	10	0.2	△71.9
ベネズエラ	84	55	0.4	△34.8	22	△44	-	-
アジア・大洋州	174	112	0.8	△35.5	△0	2	0.0	-
中国	4	57	0.4	1,190.6	1	0	0.0	△60.4
日本	30	23	0.2	△23.8	0	0	0.0	-
合計(その他含む)	11,732	13,593	100.0	15.9	4,218	4,517	100.0	7.1

〔注〕金額は推計値。

〔出所〕コロンビア中央銀行(2017 年 4 月)

表 6 コロンビアの業種別対内・対外直接投資<国際収支ベース、ネット、フロー>

(単位: 100 万ドル、%)

	対内直接投資				対外直接投資			
	2015 年		2016 年		2015 年		2016 年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
石油	2,512	2,172	16.0	△13.5	1,416	807	17.9	△43.0
鉱業(石炭含む)	533	△104	-	-	-	-	-	-
製造業	2,471	1,914	14.1	△22.5	422	581	12.9	37.6
金融	2,103	2,572	18.9	22.3	428	2,502	55.4	485.0
運輸・倉庫・通信	801	1,096	8.1	36.8	△808	△61	-	-
商業・外食・ホテル	1,847	1,044	7.7	△43.5	1,579	79	1.8	△95.0
建設	746	677	5.0	△9.3	47	△1	-	-
電力・ガス・水道	274	3,630	26.7	1,223.2	867	564	12.5	△35.0
農林水産	211	251	1.8	18.9	12	15	0.3	22.8
合計(その他含む)	11,732	13,593	100.0	15.9	4,218	4,516	100.0	7.1

〔注〕金額は推計値。

〔出所〕コロンビア中央銀行(2017 年 4 月)

工業製品が大半を占め、構成比の高い順に印刷機、建設機械などの機械類が前年比 8.0%減の 3 億 6,500 万ドル、自動車・自動車部品が 11.2%増の 3 億 6,400 万ドル、鉄鋼などの卑金属が 14.4%減の 2 億 500 万ドル、化学品が 36.9%減の 1 億 3,700 万ドルと続く。

2016 年の日本からの直接投資額は前年比 23.8%減の 2,300 万ドルだった。これは、対内直接投資総額のわずか 0.2%にすぎない。主な案件としては、3 月に荏原製作所がポンプの販売とサービス・サポートを行う新会社をボゴタに設立したほか、6 月にはアステラス製薬が南米で 2 社目となる子会社をボゴタに設立した。

現在交渉中の日本とコロンビアの間の二国間 EPA 交渉は 2015 年 9 月までに 13 回を重ね(その後 2017 年 5 月までに小規模な会合を 9 回開催)、両国経済界は早期締結に期待している。

表7 コロンビアの主な対内直接投資事例(2016年)

(単位:ドル)

業種	企業名	国籍	時期	投資額	概要
エネルギー	ブルックフィールド	カナダ	1月13日	20億	政府が保有するイサヘン電力の株式57.6%を6兆4,800億ペソ(約20億ドル)で取得。
農業	コンパニア・デ・セルベリアス・ウニダス (CCU)	チリ	2月8日	4億	クンディナマルカ県セスキレにハイネケンの新工場を建設。
インフラ	FCC	スペイン	5月2日	4億3,000万	ボゴタのサリレ地区の水処理施設建設に4億3,000万ドルを投資。
医療	サニタス・インターナショナル	スペイン	6月9日	9,500万	2016年と2017年に6,000万ドルを掛けて19の一次医療窓口と4つの医療センターを開設。また、ボゴタの小児科病院の建設と寄付に3,500万ドルを投資。
不動産	センコスト	チリ	6月14日	3億	メデジンにショッピングモールを建設。
化学	ヤラ	ノルウェー	6月23日	1億3,700万	カルタヘナの肥料工場の拡大に1億500万ドル、バジェ・デル・カウカ県ヨトコへの新工場建設に3,200万ドルを投資。
観光	ベスト・ウェスタン	米国	6月24日	4,120万	ドゥイタマ、カルタヘナ、ベニャリサ、プエルトガイタンに4つのホテルを建設。
インフラ	ターミナル・リンク	フランス	9月19日	6億	コロンビアの港湾インフラ及び物流サービス会社PIO S.A.S.と共同で、2017年にアンティオキア県ウラバに港湾ターミナルを建設。1,500人の雇用を創出する。
建築資材	セメックス	メキシコ	9月22日	3億4,000万	アンティオキア県マセオに、同社で2番目に大きい生産工場を建設する。2016年内には建設完了予定で、生産能力は約100万トン。
小売り	ジェロニモ・マーティンズ	ポルトガル	9月26日	2億2,240万	ジェロニモ・マーティンズグループの子会社でスーパーマーケットを展開するアラは、2020年までにコロンビア国内で1,000店舗を開業する。また、ガラパ、ボゴタ及びエフェ・カフェテロに物流センターも建設予定。
石油・天然ガス	レブソル	スペイン	10月26日	13億	コロンビアにおいて今後5年間で採掘、開発、生産などの事業に13億ドルを投資し、57%の増産を目指す発表。
インフラ	PSA インターナショナル	シンガポール	11月15日	5億	プエナビントウーラ港の港湾施設建設に5億ドルを投資。2016年末までに運用開始予定。7,500人の雇用を創出。
エネルギー	エネル	イタリア	11月22日	5億6,100万	2017年から2019年にかけて5億6,100万ドルをコロンビアのエネルギー事業に投資。
不動産	パルケ・アラウコ	チリ	12月12日	2億2,260万	ボゴタ北部にショッピングモールを建設。1,500人の直接雇用と2,000人の間接雇用を創出。

[出所] 各社発表および報道などから作成

表8 コロンビアの主な対外直接投資事例(2016年)

(単位:ドル)

業種	企業名	投資国・地域	時期	投資額	概要
製造業	コロンビーナ	グアテマラ	6月24日	3,200万	グアテマラの食品会社カプサの株式50%を3,200万ドルで取得。これにより、100%の株式取得を達成。
金融・保険	グルーポ・スラ	アルゼンチン、ブラジル、チリ、コロンビア、メキシコ、ウルグアイ	7月6日	6億1,400万	英国・RSA インシュアランス・アライアンスの中南米6カ国の事業を買収。
製造業	セメントス・アルゴス	米国	8月18日	6億6,000万	ハイデルベルグセメントの米国子会社がウエストバージニア州に有するセメント生産プラントと近隣州にある8つのセメントターミナルを6億6,000万ドルで買収。
電力	イサ	ブラジル	12月28日	3億2,000万	タエサの株式41.6%を取得。

[出所] 各社発表および報道などから作成

表9 コロンビアの対日主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位:1,000ドル、%)

	輸出 (FOB)					輸入 (CIF)			
	2015年		2016年			2015年		2016年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
伝統産品	416,078	327,093	76.5	△21.4	石油・同派生品	9,264	19,941	5.5	115.3
コーヒー	273,564	242,970	56.8	△11.2	液化天然ガス	0	19,083	5.2	-
石炭	16,481	25,793	6.0	56.5	農水産物	2,052	2,779	0.8	35.4
フェロニッケル	25,257	55,436	13.0	119.5	プラスチック製品	7,254	6,122	1.7	△15.6
原油	100,776	2,894	0.7	△97.1	石鹸・化粧品など	4,613	4,959	1.4	7.5
バナナ	1,741	1,739	0.4	△0.1	繊維製品	3,772	2,364	0.6	△37.3
エメラルド	7,384	5,084	1.2	△31.2	卑金属	238,947	204,506	56.2	△14.4
花卉	48,713	48,598	11.4	△0.2	鉄鋼	220,995	193,295	53.1	△12.5
その他農水産物	2,791	3,670	0.9	31.5	化学品	216,864	136,818	37.6	△36.9
コーヒー調整品	16,104	15,059	3.5	△6.5	機械類	396,909	365,165	100.3	△8.0
菓子	2,718	2,046	0.5	△24.7	印刷機	41,889	37,439	10.3	△10.6
卑金属	888	3,422	0.8	285.3	建設機械	30,799	28,224	7.8	△8.4
化学品	19,017	17,088	4.0	△10.1	自動車・自動車部品	327,449	364,023	100.0	11.2
機械類	426	475	0.1	11.6	乗用車	218,143	266,899	73.3	22.4
合計(その他含む)	519,956	427,631	100.0	△17.8	合計(その他含む)	1,227,454	1,115,630	306.5	△9.1

[出所] 国家統計庁(DANE)、国税庁(DIAN)